

○山井委員 二十八分間、質問をさせていただきます。限られた時間ですが、午後には一般質疑もあって、同僚議員が各大臣に質問すると思いますので、ここはもう総理大臣以外には答弁は求めませんので、是非とも、基本的なことしかお伺いしませんので、菅総理、誠実にお答えをいただければと思います。

まず、何よりも、山田政務官が体調を壊され、入院され……（発言する者あり）広報官が体調を壊され、入院をされ、辞職を申し出られたということを、非常に私もショックを受けております。やはり、女性のエースとして広報官で仕事をされておられた、男女共同参画という観点からも頑張っていたいただきたいとも思っておりました。しかし、こういう形で、ある意味で犠牲者となられた面もあるのではないかと思っております。今の菅政権を象徴するこの付度、接待政治、この政治を終わらせねばならないと思います。

先ほども話でしたが、本来でしたら、先週金曜日、しっかりとした記者会見を菅総理はやるべきであったと思います。京都を始めとして緊急事態宣言が解除された地域の方々には、今までの我慢、自粛のお礼を言いつつ、また、東京等、まだこれから解除できるかどうか分からない地域に関しては、もう一我慢していただきたいということ、そのことを切に総理大臣から国民にお願いをしていただきたいかったですし、同時に、私たちも要望しておりますが、二回目の持続化給付金とか、あるいは生活困窮者に対する給付金とか、国民に我慢をお願いする代わりに、政府としても、コロナから事業者、国民を守りますよ、そういうメッセージをいただきたいかと思っております。しかし、今回の山田広報官のこともあり、記者会見が開かれなかったのではないかと思っております。

そこで、菅総理にお伺いします。

この山田広報官に関しては、本当に御回復をお祈りしますし、お見舞いを申し上げたいと思いますが、ある意味で、菅総理やこの菅政権の被害者、犠牲者であった面もあるのではないかと私は思います。菅総理は、山田広報官にはおわびはされましたでしょうか。

○菅内閣総理大臣 私はそういうことを申し上げる立場じゃないと思います。

○山井委員 なぜ私がこういうことを申し上げるかといいますと、七万四千元に上る高額な接待、必ずしも、私、行きたくて行かれたんじゃないんじゃないかと思うんですね。やはり、菅総理の息子さんもおられるお誘いである、これを断ると、もしかしたら総理から嫌われるんじゃないか、左遷されるんじゃないかと。

ちょっとここに総理の本がございます。「国民の「当たり前」を私が実現する」と書いてあります。「官僚を動かせ」。この中で、例えば、配付資料の中にもありますけれども、NHKの担当課長を更迭した、そして、つまり、人事権を使って官僚を動かしていた。残念ながら、総理と意見が対立して、更迭をされた官僚の方々もおられます。

やはり、そういう中で、菅総理に同調しないと、意見を異にすると飛ばされるのではないかという、内閣人事局の制度の濫用とも言える今の付度が広がってきているのではないかと思っております。

菅総理、山田広報官もやはり御息を含んだ会食は断るに断れなかったとは思いませんか。

○菅内閣総理大臣 私は承知する立場にありません。

○山井委員 その答弁はちょっと冷た過ぎませんか。

私は、息子さんからのお誘いじゃなかったら、七万四千元もの高額な、利害関係者でもある疑いがある危険な夕食会には出られなかったのではないかと思っております。

菅総理、別人格だというふうに息子さんのことをおっしゃいましたけれども、官僚の方々はその見えておられなかったんじゃないんですか。いかがですか。

○菅内閣総理大臣 これについても、私が答弁することじゃないでしょうか。

○山井委員 余りにも無責任じゃないですか。この本の中にも、方向性は政治家が出す、でも、責任は最後は政治家が取ると書いてありますよ。

これだけ今日もお越しくださっておりますが、農水省の幹部の方、総務省の幹部の方、本当に国のために働いてくださっている方。もちろん、違法の疑いのある接待を受けたことはよくないことですが、そもそもは、当時の大臣や菅官房長官、菅総理、その政治家との絡みがあるから接待を断れなかった。私は、ある意味で被害

者、犠牲者という面もあると思います。

菅総理、こういう、女性の広報官を登用していく、でも、最後は、自分の息子さんですよ、自分の息子さんが声をかけたことによって大問題になって、体調を壊して、辞めざるを得なくなる。これに対して、自分は関係ないとおっしゃるんですか。総理、いかがですか。

○菅内閣総理大臣 まず、私自身がそうした今の御質問に答える立場じゃないというふうに思います。

先ほど申し上げましたように、私の家族が関係をして、結果として公務員が倫理法に違反するような行為に至った、そうしたことについては、大変申し訳なく、心からおわびを申し上げるところであります。

それと、私自身の、官僚が、左遷するという話でした。私は、感情で人事をやったことはありません。私は、全て政策によって人事をやっています。私たち政治家というのは、国民の皆さんと様々な政策を約束をして当選するんじゃないでしょうか。国民から負託を受けて、その政策を実現するために。それだったら、政治家は要らないじゃないですか。だから、私は本に書いているんです。堂々と、政と官の役割はしっかりとした中で行うべきであると。その中で、そうでなければ、本に左遷したことなんか書くわけじゃないじゃないですか。

今NHKの話が出ましたけれども、私はNHK改革をやりたい、私の公約でもありました。しかし、それに政策で反対する人をその場に置いていいんですか。それは政策ですよ、感情じゃないんです。(発言する者あり) いや、そういう中で私自身は判断をして行っているということは、そこは是非御理解をいただきたいですよ。

ただ私の感情で、自分にいいとか悪いとかじゃなくて、やはり政策じゃないでしょうか。政策の方向性はやはり政治が決めるべきだと思いますよ。その結果として責任を持つのも政治だと思いますよ、それは。私は何も違っていることは言っていないと思います。

○山井委員 結果として責任を取るとおっしゃっているけれども、結果として、山田広報官もこういう形になって、あなたは何も責任を感じてられないんじゃないんですか。

そして、ここにも、配付資料にありますけれども、総務省で「縁故人事の恐れ 霞が関役人は萎縮 官邸に課題言えず」。この方も書いておられるのは、元総務省の方ですけども、結局、決まったことに従うのは官僚は当然だけれども、問題点を指摘しただけで飛ばされるようなことがある、それではもう怖くて官邸に物が言えなくなっている、そういう忖度政治が進んでいるということをご方も指摘をされておられます。

そういうことがあるから、今回も私、びっくりしました。総務省も、これは一々細かいのは見えないと思いますが、組織ぐるみ、三十八回、十一人処分。これは、利害関係者と会食をしてお金を払ってもらう、そんなことはあり得ない話なんです。それはやはり、菅総理の御息が関係しておられるから断れなかったというふうに見るのが、私は菅総理がおっしゃる国民の当たり前の感覚だと思います。

菅総理、では、この三十数回に及ぶ組織ぐるみの接待は、息子さんは全く無関係だったというふうにおっしゃいますか。(発言する者あり)

○金田委員長 静かに聞いてください。

○菅内閣総理大臣 息子、先ほど私も家族と申し上げましたけれども、結果としてそうした公務員倫理法に違反することに至ったということについては、私、申し訳なく、おわび申し上げると先ほど申し上げました。

ただ、私は因果関係というものは正直分かりません。息子とこの総務省のことで、どういう事態でこうなったかということも全く話していません。

ですから、そういう中で、私の息子がそういうことを行ったということについては、私は先ほど来、結果としてそういう事態になったわけですから、おわび申し上げたということでもあります。

○山井委員 ここに総務省の幹部の方々もお越しになっています。情報通信、そういう政策のエース、本当にしよって立つすばらしい官僚の方々であったと思います。

しかし、こういう違法接待を受けざるを得なくなった。それは、やはり息子さんだったからではないかと私は思います。思わざるを得ません。そういうことがなかったら、優秀な日本の官僚の方々が、こんな組織的な、違法の疑いが強い接待を受けているはずはありません。

菅総理、山田広報官に私は一言おわびはされるべきじゃないかと思います。やはり息子さんがおられなかったらこの事件は私は起こっていないと思います。いかがですか。

○菅内閣総理大臣 その内容については、今、総務省でも調査中じゃないでしょうか、総務省のことについては。

我が国は、やはり、内閣の中で、その総務省の判断が正しかったか、適切かどうかということ判断する第三者機関というのがあります。そういう中でやはり客観的に行われるべきだというふうに思います。

山田さんに対して私が謝るとか謝らないとか、そういうことはここで申し上げるべきじゃないというふうに思います。

○山井委員 私はなぜこだわるのかというと、先ほども枝野代表から話がありましたが、これからコロナ対策を一丸となって政治家と官僚の方々が国民のために仕事をするとするときにおいて、結局、息子さん絡みで接待を受けて辞職することになって、それだけですかと。これでは私は、優秀な、志ある霞が関の方々は、コロナ対策、なかなかこれは菅総理の言うことを聞いてやろうということにならないと思います。

こうやって総務省の官僚の方々がこういう場にお越しになっているのも、ある意味で、私は、菅総理の被害者、犠牲者じゃないかと思えます。

一言、この官僚の方々におわびの言葉はないですか。

○菅内閣総理大臣 先ほどから申し上げておりますとおりに、私が今申し上げるべきことじゃないというふうに思います。(発言する者あり)

○金田委員長 静粛に。

○山井委員 これは繰り返し言いますが、私は国民の当たり前の感覚とずれていると思います。

この本に、方向性は政治家は出すけれども、最終責任は政治家が取るを書いてあるじゃないですか。でも、これだけの事件が起こって、私はその付度、接待政治の大本は菅総理だと思います、今回の事件は。菅総理と息子さんがおられなかったら、こんなことにはなっていなかったんです。にもかかわらず、この期に及んでも菅総理はこのことの責任を明確にされない。私は、それでは余りにも無責任だと思います。

もう一つ菅総理に申し上げたいことは、先日一月二十九日にも、低所得家庭のお母さん方とか、非正規雇用で休業手当が数か月入っていない、生活に苦しんでおられる方々と面会していただきました。

しかし、その要望をしたにもかかわらず、ほとんどゼロ回答、大企業の休業支援金のことに關しても、実態的には二割ぐらいしか無理でした。その個々の政策については触れませんが、結局、当事者の方々からすると、総理に会ったけれども、たたき上げの総理で期待していたけれども、やはり期待外れだったと言わざるを得ないんですね。

そこで、総理にお伺いしたいんですが、こういう本当に困っておられる方々が総理に面会してもなかなか政策が実現しない。一方では、高額な接待をしたら何かその業界の言うことを聞いてもらえるのではないかとということでは、コロナで苦しむ国民もやっつけられないのではないかと思うんです。

菅総理、では、多くのコロナで困っておられる方々が菅政権で言うことを聞いてもらおうと思ったら、やはりある程度、接待とか何かをしないと駄目なんですか。菅総理に面会しても話は通らない、結局やはりそういう憤りが私は出てくると思うんです。菅総理、いかがですか。

○菅内閣総理大臣 私は、国民にとって必要なものは、客観的に考えて必要なものは必ずしっかり対応する、そういう姿勢です。

○山井委員 私も、菅総理とは議運の理事と一緒に仕事もしたことがありまして、たたき上げということで、もう少し具体的な仕事をしてくださるのではないかと考えていましたけれども、なかなか私たちが要望している政策、コロナ対策の政策は聞いてくださらない。一方では、このような接待疑惑がどんどんどんどん噴出している。

そこで、枝元次官もお越しをいただいております。残念ながら、枝元事務次官の農水省も、詳しくは申し上げませんが、アキタフーズの贈収賄の、吉川元大臣との贈収賄事件、そのまた会食の現場におられたということでもあります。

まず、枝元次官、農業、全国的にもコロナで苦しんでおられます、そのトップである枝元次官が、このような事態、違法まがいの会食の現場におられたことに関して、おわびをしてください。

○枝元参考人 お答え申し上げます。

今回の私の倫理規程違反の行為によりまして、農林水産行政、また国家公務員に対する信頼を損ないました。

農林水産関係の皆様方、また国民の皆様方に誠に申し訳なく、心からおわび申し上げます。

○山井委員 これは総務省だけじゃなくて、私たち、こういう姿を見ていると、本当に各省庁のエース、トップの方々がこういう違法な接待を受けている、こういう疑惑に関して、本当にこれでコロナ対策が進むのかと心配で心配でなりません。

枝元次官にお伺いをします。

では、この吉川元大臣とアキタフーズの元代表と会食されたときのメンバーは誰だったのか。そして、吉川元大臣は、今、贈収賄の事件で起訴もされております。どういうメンバーで、また、どういう話をして、そして、この会食の趣旨はということだったのか、お答えください。

○枝元参考人 お答え申し上げます。

まず、私が参加いたしました会食でございますけれども、吉川元大臣、あと河井先生、あとアキタフーズの秋田元代表の方でいらっしゃいます。私どもの方は、私、当時生産局長でございましたが私、あと、もう辞めておりますけれども当時の畜産部長、あと、課長が二人参加しているところでございます。

中身でございますけれども、多分養鶏についての話題も出たのだろうと思いますけれども、二年半ほど前のことで、ほとんど覚えてございません。ただ、具体的な政策についての働きかけがございますれば、さすがに覚えていると思いますので、そのような働きかけはなかったというふうに認識をしております。

会食の趣旨につきましては、ちょっと私はよく分かりません。

○山井委員 これ、公正な農政を進めていく上で、こういう鶏卵業者の業界の代表と会食をする、たとえ政治家がそこに同席したとしても、行くべきではなかったのではないですか。そして、このことに関して、国際機関の厳しい基準案に反対してほしいとか、あるいは補助金を拡充してほしいとか、そういう様々な要望を聞いているわけですね。そういう関係の中でのこの会食。

じゃ、これ、吉川元大臣から何らかの指示があったのか、そのことについてお答えください。

○枝元参考人 お答え申し上げます。

会食の場で、そのような具体的な要請はなかったというふうに認識をしております。

会食を受けまして、何か吉川大臣から指示があったということはございません。

○山井委員 これは、総務省のときも、最初は記憶にございませんということだったんですね。ところが、結局は様々な調査の中で上がってきたわけです。

今回、枝元次官、これは調査の中で、農水省のこの処分に関しては、吉川元農水大臣とかアキタフーズの元代表にもヒアリングもせずに処分をして、これは幕引きを急いでいるのではないかと思います。

農水大臣にお伺いします。

後ほど詳しくは同僚議員が質問しますが、全くこれは、幕引きであって、不十分な調査、不十分な処分というか、ほとんど調査していないんじゃないんですか。いかがですか。（発言する者あり）

○金田委員長 静粛に。

○野上国務大臣 まず、私からも、今般、当省の幹部職員が倫理規程違反で懲戒処分を受けるに至りましたことは、農林水産行政に対する国民の信頼を大きく損なうものでありまして、改めて国民の皆様には深くおわびを申し上げます。

一日でも早く国民の信頼を取り戻すために、再発防止と倫理規程の遵守を徹底をして、国民の厳しい視線を常に意識しつつ、日々の仕事に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。

そして、先ほどの処分の話でございますが、本事案では、吉川元大臣からの誘いを受けて、吉川元大臣、アキタフーズ元代表と会食したものであること、また、対象者が部下を指導監督する立場にある幹部職員であること、会食に参加した回数などを総合的に勘案しまして、これは国家公務員倫理審査会の承認を得た上で、枝元次官以下三名の幹部職員を減給とするなど、厳正な処分等を行ったと考えております。

○山井委員 いや、これはコロナで苦しむ国民のことは、結果的には、こういう村度や接待をしている中で後回しになっているのではないかと。先ほどの総務省の、息子さんたちからの夕食接待、会食も、このコロナの期間あるいは自粛期間の夕食も含まれているわけでありまして。このようなことについては、本当に、結局、コロナの、国民

の方々からすると、こういう政治を何とか早く終わらせねばという強い怒りが出ております。

については、菅総理にお聞きします。

先ほど枝野代表の話にもありましたが、今週、東京での解除をするのかどうかということが焦点になっておりますが、先ほども枝野代表の質問にあったように、菅総理は解除に比較的前のめり、尾身会長を始めとする諮問委員会の先生方は割と慎重という気がいたします。もちろん、経済を回すために一刻も早い解除が必要という意見もあろうかと思いますが、心配なのは、その諮問委員会の皆さんの声を十分に菅総理が尊重せずに判断をされるのではないかという不安の声が国民の中から多々あります。

については、この解除の判断においては諮問委員会の方々の意見を尊重するというをここでお答えいただければと思います。

○菅内閣総理大臣 まずは今週の数字をしっかりと見ていきたい、こういうふうに思います。

専門家の皆さんは、ステージ3となったら解除するという御意見でしたが、一都三県はほとんどの指標でクリアしています。新規感染者がステージ2に達しつつある。これは一つの検討の前提にしなきゃならないと思います、こういう方向を皆さんに公開をしていますから。できるだけ感染を減少させていくという思いは、これは皆さんも同じだと思います。

予定どおり三月七日で解除したとしても、緊張感を持って必要な対策は続けていかなきゃならないと思いますし、感染拡大が、その時点において、可能であれば、拡大が実際進んでいけば、それは様々な数値の中で、それは専門家の委員の皆さんからの話を伺いながら、ただ、一つの、指標というのは約束して皆さんにお願いをしていますから、そういう中で具体的に3から2に進んでいくのか、様々なことを考慮する中で、最終的には私の責任で判断をします。

○金田委員長 山井和則君、時間が参ります。

○山井委員 これは、諮問委員会の方々の意見を聞きながら慎重に判断をしていただきたいと思いますが、何よりも、先ほど枝野代表からもありましたが、そのためには十分な事業者への支援、PCR検査など、しっかりとした対応が必要であります。二回目の持続化給付金などを通じて、そういうことをしっかりと、事業者や国民を守る政策をやる、そのことを是非ともお願いしたいと思います。

以上で終わります。ありがとうございます。